

# どうしました

## 子宮脱手術する場合は

60代女性。下半身に違和感があり、婦人科を受診したら、「骨盤臓器脱（子宮脱）」と診断されました。腔の中にペッサリーというリング状の器具を入れたのですが、痛くてやめました。手術を勧められましたが、方法や違いを知りたいと思っています。（兵庫県・〇）

Q 骨盤臓器脱とは。

A 膀胱や直腸など骨盤内にある臓器が、腔の方から下垂して出てくる女性特有の病気の総称です。子宮が出ると「子宮脱」と言います。臓器を支える骨盤底筋の出産によ

る損傷、立ち仕事などでの慢性的負荷などが原因で、排尿・排便が難しいといった症状が出る場合があります。60代、70代が多く、30代の患者もいます。

Q 治療方法は。

## 答える人



野村 昌良さん  
のむら まさよし

亀田総合病院ウロギネ・女性排尿機能センター長  
千葉県鴨川市

A 骨盤底筋を鍛える体操のほか、相談者のように器具を入れる保存療法があります。器具による痛みや違和感、合併症を訴える人が一定数います。症状が重かったり、器具を外して経過を見たり、生活に支障が出たりしたら、手術を検討しましょう。

シユ）を入れる方法と入れない方法があります。メッシュを体内に固定して、骨盤内の臓器を支えます。腹腔鏡でおなかから入れるのと、腔から入れる二つの方法があります。一般的には75歳以下では腹腔鏡の手術が多く、下垂の症状や性交渉の頻度にもよります。ごくまれにメッシュが出てくるなどの合併症が起

Q 手術方法は。  
A 網状の合成樹脂（メッ

出でてくるなどの合併症が起

ります。  
Q メッシュを入れない術式は。  
A 腔から子宮をとり、たるんだ腔壁が下がってくるのを防ぐため腔壁を縫い縮める方法があります。メッシュの合併症はないですが、すでに弱くなった組織で治療するため、再発率が高いです。ほかに腔の穴を完全に閉じる手術もあります。年齢や希望、病状によって治療法は異なるので、専門医に相談し、ライフスタイルにあった形を選んでください。